

Labo NEWS

Aichi Association of Medical Technologists Report



らぼニュース



第23回 愛知県医学検査学会開催にあたり

学会長 雪吹 克己 (蒲郡市民病院)

CONTENTS

- 巻頭言 第23回 愛知県医学検査学会開催にあたり 1
- 地区だより 尾張南地区 2
- 地区研修会 尾張南地区・東三河地区 3
- 中部圏支部研修会 「生物化学分析部門研修会」 4
- メールアドレス登録のお願い 4
- 愛臨技HP求人情報掲載について 4
- 会員執筆物の紹介原稿募集 4
- 講演会 5
- 基礎講座・研究会 6
- 第23回愛知県医学検査学会開催案内 7

第23回愛知県医学検査学会が東三河地区の担当で令和7年6月29日(日)に蒲郡市民会館にて開催の運びとなりました。第22回は令和5年に知多地区の担当で開催されましたが、令和6年は日臨技中部圏支部医学検査学会が愛知県主催のため第23回愛知県医学検査学会は1年先送りとなり令和7年の開催となりました。

今回の学会テーマは「WELL-BEING」(ウェルビーイング)とし、WELL-BEINGとは「心身ともに幸せであること」。自分の仕事に楽しさや誇りを持つこと、また職員同士の関係性が深まれば職場の雰囲気も良くなり、モチベーションも上がり能力が存分に発揮できる。それによりチーム医療への効果も発揮されるということになります。

今まで議論されてこなかった「やりがい」「働きやすさ」「達成感」といったWELL-BEINGの考え方を取り上げることで、全ての年齢層のスタッフが「今の思い」を共有することができると考え、本学会のテーマとしました。

シンポジウムでは今回のサブテーマを「～これからの臨床検査技師へ「継承と改革」～」とし、検査が自動化・効率化したことにより何が出来るか、何をすべきか、タスク・シフト/シェアを取り入れた働き方を「やりがい」「働きやすさ」「達成感」などを考慮し、今後の課題や解決策を提示し各施設での改革を進める足掛かりとなるシンポジウムにしたいと考えております。また、学術部の協力を得て心臓・血管・腹部エコーのハンズオンも開催を予定しております。

地区特別企画では、蒲郡市民病院最高経営責任者の城卓志先生をお迎えし、市民病院と医師会が統合を図る3万人規模の健診データを起点に、行政・医療・介護等のヘルスケアデータを連携・集積し、市民と共有する「がまごおりデジタル健康プラットフォーム」についてのお話をさせていただきます。

今回の開催地である東三河地区は、愛知県の南東部に位置し、豊橋市、豊川市、蒲郡市、田原市、新城市などが含まれ自然豊かな環境とともに、歴史や文化、産業が融合した魅力的なエリアです。交通アクセスも良好で新幹線や在来線、国道や高速道路も整備されており車で移動もスムーズです。今回の会場となる蒲郡市民会館もJR蒲郡駅から徒歩近く、お車では、東名高速「音羽・蒲郡」インター、国道23号バイパスが最寄りであり会場には駐車場も完備しておりますので多くの皆様のご参加をお待ちしております。

2024年10月1日現在 正会員数 3,908名



労働者健康安全機構(JOHAS)は全国32カ所にある労災病院(総合せき損センター及び吉備高原医療リハビリテーションセンター含む)を運営しております。労災病院は、勤労者医療の中核的役割を担うため、働く人々の職業生活を医療の面から支えるという理念の下、①予防から治療・リハビリテーション・職場復帰に至る一貫した高度・専門的医療の提供、及び②職場における健康確保のための活動への支援を行っており、勤労者の早期職場復帰・健康確保という労働政策の推進に寄与しております。



中部労災病院(現在承認病床数556床、診療科目28診療科)は、1955年3月に労災疾患に対応すべき政策病院として開院しました。当初は、内科・外科・整形外科の3科のみでしたが、地域の産業構造の変化やニーズに応えるべく総合病院になりました。50周年記念事業として2008年に建て直しを行い、現在の外観となりました。建て直しに際し、地域に根ざし親しみある病院であるようにと、地域の方々の『ろうさいさん』と言う愛称から、病院看板等は『労災』から『ろうさい』へと変わりました。正面玄関にはステンドグラスや陶版画を配置し、屋上には300坪の庭園、駐車場には桜の木(ソメイヨシノ、河津桜、枝垂れ桜)が咲き誇り、心やすらぐ場となっております。

当院は名古屋市南部地域の基幹病院として、勤労者や地域住民の医療需要に応じた高度な医療を提供するため、高度医療機器の整備を図るとともに、診療体制の充実・強化に努めております。中でも、中高年労働者の健康対策として、三大成人病である脳卒中や心臓病の要因でもある『糖尿病』において、東海地区では最初に『糖尿病センター』を設置し、予防から治療までの一貫した管理を行い、着実に成果をあげております。また、当院は、東海地区随一の規模を誇るリハビリテーション施設を有し、整形外科と連携して、東海地方の脊椎・脊髄損傷のセンター

的役割を果たし、多くの患者様の社会復帰に貢献しております。

中央検査部は常勤技師24名・嘱託技師4名で、採血業務、生理検査、病理検査、輸血検査を行っております。日本超音波医学会・日本輸血細胞治療学会・日本臨床検査技師会等の各専門分野の学会で認定された、専門認定技師を中心に検査の質の向上を図っております。検体・血液・一般・細菌・当直業務はブランチャラボになっております。母体は違いますが、互いに尊重し合いながら業務を進め、正確で迅速な結果報告を心がけております。

当院ではチームワーク医療を掲げており、2021年には書籍『決め手はチームワーク医療 中部労災病院』を出版しました。私自身、普段は検査室内での業務が主ですが、時には他職種と関わる検査も行っており、その際は積極的に交流を持ち、互いに信頼関係を築きながら日々の業務に臨んでいます。



地区研修会

尾張南地区(現地開催)

基礎教科：20点

日時：12月14日(土) 15:00~17:00

参加方法：日臨技 HP から事前登録
11月8日(金)~12月13日(金)

定員：80名

参加費用：なし

場所：名古屋記念病院 研修センター1階

テーマ：私を心電図検定マイスターに連れてって

講師：南生協病院 検査科 科長 早川 武志

司会：南生協病院 棚田 総太郎

内容：皆さんは心電図の判読にどのくらい自信がありますか？心電図の判読にはかなりの技術と知識が必要です。波形の細部にまで目を見張り、患者病態を判読することは非常に難しく奥が深いですよね。日頃見慣れない心電図を見つけたり、患者さんが症状を訴えているのに医師にコンサルトするか迷ったりして困った経験はないでしょうか。本研修会は、日頃から心電図の判読に携わる方、判読のステップアップを目指す方に向けた内容となっています。昨年度好評だった心電図の講義を今回は現地でも開催します。心電図検定1級マイスター合格者の早川先生の講義を通して、一緒に楽しく学び、実臨床に活かしてみませんか。
※こちらは現地開催用の案内です。オンデマンド配信視聴希望の方はお間違えのないようお願いいたします。

尾張南地区(オンデマンド配信)

基礎教科：20点(レポートを提出した者に限る)

閲覧期間：12月15日(日)~12月29日(日)

参加方法：日臨技 HP から事前登録
11月8日(金)~12月6日(金)

*視聴方法は後日メールにて配信

定員：なし

参加費用：なし

レポート締切：12月31日(火)

配信方法：オンデマンド配信

テーマ：私を心電図検定マイスターに連れてって
講師・内容：尾張南地区研修会(現地開催)をご参照ください。

※こちらはオンデマンド配信用の案内です。現地開催参加希望の方はお間違えのないようお願いいたします。

東三河地区(現地開催)

基礎教科：20点

日時：12月8日(日) 14:00~16:00

参加方法：日臨技 HP から事前登録
11月7日(木)~12月7日(土)

定員：100名

参加費用：なし

場所：成田記念病院(大会議室)

テーマ：「各病院での防災対策について」

1. 東三河地区の病院検査室における
防災対策の実情について
2. 「水害を振り返って
~浸水から復旧までの教訓と課題~」

講師：総合青山病院 防災センター主任 野澤 義則

司会：渥美病院 長谷川 正和

内容：災害はいつ起こるか分からないものです。そのため皆さんも日頃から防災対策や訓練を行っていると思います。今回の研究会では、各施設どのような対策をとっているのか共有すると共に、昨年実際に水害のあった総合青山病院の防災センターの野澤義則先生に「防災対策」をテーマに、お話ししていただきます。皆様もこの研究会に参加し災害対策について考えていただきたいと思いますので、是非、多くのご参加をお願い致します。

令和6年度 日臨技中部圏支部研修会 「生物化学分析部門研修会」開催案内

主催：(一社)日本臨床衛生検査技師会 中部圏支部
実務担当技師会：岐阜県臨床検査技師会

- 【テーマ】「基礎から実践に ～知識を深め、共に学ぶ～」
【日時】令和7年2月1日(土) 13:00～2日(日) 11:50
【場所】尾張一宮駅ビル i ビル 2F 大会議室(愛知県一宮市栄3丁目1番2号)
【定員】80名(事前参加登録制)
【申込期間】10月28日(月)～12月27日(金)
【受講料】日臨技会員 8,000円(税込)

研修会の詳細は日臨技 HP 支部情報からご確認ください。

メールアドレス登録と受信設定のお願い

毎月会報『らぼニュース』Web版発行のお知らせを日臨技会員システムに登録されたアドレス宛にメール配信しています。その他、重要な情報提供、お知らせなどもメール配信させていただきます。会員の皆様には登録メールアドレスの確認と、変更がありましたら日臨技会員専用ページにて変更手続きをお願いします。また、迷惑メール防止の受信設定をされている方は、下記のメールアドレスからの受信ができるよう、設定をお願いします。ご理解とご協力をいただけますようお願い申し上げます。

jamt_pref23@sys.jamt.or.jp

愛臨技HP 求人情報掲載

愛臨技HPに臨床検査技師求人情報の掲載を始めました。

掲載を希望される会員は、愛臨技HP会員サイト内「各種手続き」、「求人掲載依頼」画面にて必要事項を入力、求人票登録をお願いいたします。

なお、求人掲載は施設会員のみとしますが、求人情報は会員以外でも閲覧可能です。

詳細は愛臨技HPにてご確認ください。

会員執筆物の紹介原稿募集します！

会員の業績紹介の一つの方法として、らぼニュースにて論文、書籍執筆(分担執筆を含む)などの紹介掲載を受け付けます。自薦・他薦は問いません。

掲載を希望される方は愛臨技HP【会員サイト】(各種手続き)に申請書、手続き方法を掲載してありますのでご覧いただき、お申し込みください。



愛臨技 HP

講演会

生物化学分析検査研究班

専門教科：20点(レポート提出者に限る)
閲覧期間：12月7日(土)～20日(金)
参加方法：日臨技 HP から事前登録※
11月1日(金)～24日(日)
※視聴方法は後日メールにて配信

定員：なし

参加費用：なし

レポート：令和7年1月3日(金) 締切

配信方法：オンデマンド配信

テーマ：血中薬物動態

講師：

1. 血中薬物動態の基礎 豊橋市民病院 杉浦 令奈
2. 血中薬物の検査項目について 日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第二病院 三村 文香
3. 免疫抑制剤の基礎と TDM ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社 カスタマーフロント本部 第3統括 13FG フィールドサイエンティスト 金子将ノ助

内容：本講演会では、血中薬物をテーマにお話しします。普段何気なく測定している血中薬物濃度ですが、血中薬物動態や各検査項目について、わかりやすく解説します。尚、当配信の視聴を希望される賛助会員、学生の皆様は(aamt-chem@aichi-amt.or.jp)に直接お申し込みください。後日、視聴方法について連絡致します。

血液検査研究班・輸血検査研究班合同

専門教科：20点
日時：12月14日(土) 15:00～17:30
参加方法：日臨技 HP から事前登録
11月1日(金)～12月14日(土)

定員：200名

参加費用：無料

場所：日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 研修ホール

テーマ：「基礎から学ぶ～免疫療法と造血細胞移植」

講師：

1. 「DLBCL 治療の新たな選択肢 ～二重特異性抗体 エプコリタマブの有効性 安全性について～」 アツヴィ合同会社 オンコロジー事業本部 オンコロジー領域事業部 首都圏・中日本営業部 静岡愛知エリア 足立 康
2. 「CAR-T 細胞療法って何？～原料採取から投与までの知っておきたい知識と管理～」 名古屋市立大学病院 南里 隆憲
3. 「造血細胞移植の進歩と関連する検査」 藤田医科大学 造血細胞移植・細胞療法学 教授 稲本 賢弘

司会：安城更生病院 山本 喜之

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 二村 亜子

内容：血液疾患の治療法である免疫療法および造血細胞移植について、基礎から学びます。講演1では、2023年に販売が開始された二重特異性抗体(エプコリタマブ)を例に悪性リンパ腫の新たな治療法について解説いただきます。講演2では、CAR-T 細胞療法の原料採取から投与までの内容について管理も含めて解説いただきます。講演3では、細胞移植の実際について管理に必要な検査をご提示いただき、臨床医の立場から検査技師に求めることなどをご講演いただきます。

一見すると難しい印象を受ける免疫療法と造血細胞移植ですが、基礎から学び理解を深めましょう。このような内容について初めて聴くという方も大歓迎です。

※事前参加登録なしでの当日参加も認めますが、定員に達した場合は事前参加登録者優先のため、参加をお断りする場

合があります。

※日臨技システムの分野が「血液」で登録されています。普段輸血検査をメインに担当されている方は、検索の際にご注意ください。

一般検査研究班

専門教科：20点(レポート提出者に限る)

日時：12月14日(土) 15:00～17:00

参加方法：日臨技 HP から事前登録
11月1日(金)～12月7日(土)

定員：なし

参加費用：なし

レポート締切：12月14日(土)

配信方法：ライブ配信

※視聴方法は後日メールにてご案内します

テーマ：「腎炎とその診断－腎生検を中心に－」

講師：

1. 講演①「腎炎についての基礎知識」 藤田医科大学ばんなね病院 進藤龍太郎
2. 講演②「腎生検の基礎から診断と治療」 名古屋大学医学部附属病院 腎臓内科 助教 前田佳哉輔

司会：小牧市民病院 前田 佳成

修文大学 岩崎 卓識

内容：腎炎は腎臓の糸球体を中心に炎症が起こる病気の総称ですが、その種類は多岐にわたり、理解が難しい面もあります。講演①では、臨床検査技師が知っておくべき腎炎に関する知識をわかりやすく解説いたします。また、講演②では腎疾患の診断における腎生検について、重要な役割や治療への影響などの最新の知見を分かりやすく解説していただきます。皆様のご参加をお待ちしております。

微生物検査研究班

専門教科：20点

日時：12月7日(土) 14:30～17:00

参加方法：日臨技 HP から事前参加登録
11月8日(金)～12月7日(土)

定員：120名

参加費用：なし

場所：JA あいちビル 14階 大会議室

テーマ：今、我々に求められるスキルとは？臨床検査室・臨床検査技師の在り方を再考する

講師：

1. 臨床検査技師のための統計のキホン 熊本大学病院 総合臨床研究部 研究展開センター 特任助教 橋本 賢勇
2. わたしは何しに検査室へ？ 名古屋市立大学医学部附属 東部医療センター 感染症内科 診療科副部長 赤澤 奈々

司会：小牧市民病院 西尾美津留

内容：講演1では、多くの人が苦手意識を持つ統計学の知識について、基礎から実践に役立つ内容まで幅広くご解説頂きます。講演2では、感染症医が何を求めて微生物検査室を訪れているのか、4つの病院に勤務経験を持つ感染症医より、医師が求める微生物検査室の在り方についてご講演頂きます。

今、我々に求められているスキルについて、一緒に考えていきたいと思います。

開催当日まで事前参加登録可能ですが、定員に達し次第締め切りとなります。また事前参加登録なしでの当日参加も認めますが、定員に達した場合は事前参加登録者優先のため、参加をお断りする場合があります。資料配布の関係上、可能な限り早目の事前登録にご協力ください。

基礎講座

血液検査研究班

専門教科：20点

日時：令和7年1月19日(日) 9:00~16:30

参加方法：愛臨技 HP から事前登録

11月18日(月)~12月27日(金)

定員：初心者コース20名程度、初級コース20名程度、合計40名(応募者多数の場合は、業務経験年数等を考慮し、施設ごとに調整させていただきますのでご了承ください。)

参加費用：県内会員3,000円(税込み 10%)

県外会員3,500円(税込み 10%)

非会員5,000円(税込み 10%)

場所：藤田医科大学3号館

テーマ：「末梢血液像の見方」

初心者コース：血液像目視経験ない方、血液像目視経験1年未満で不慣れな方を対象

初級コース：血液像目視経験1年以上から5年未満の方

講師：

【午前】両コース共通

1. 「末梢血標本の見方」

国立病院機構 名古屋医療センター 中島 峻亮

2. 「一緒に細胞を見て分類してみよう！」

日赤愛知医療センター名古屋第二病院 白木 涼

3. 顕微鏡実習症例の解説

血液検査研究班班員

【午後】

末梢血液像判読(顕微鏡実習)、症例グループディスカッション
※コースによって取り扱う症例や実習内容が異なります。

血液検査研究班班員

司会：JA 愛知厚生連 豊田厚生病院 蒲澤 康晃

内容：今年度より初心者コースと初級コースの2つのコースを用意しました。午前の講義は両コース共通で、末梢血標本の基本的な見方について学び、様々な細胞画像を見ながら分類します。

午後の顕微鏡実習では症例標本から異常細胞の形態を観察します。初心者コースではディスカッション顕微鏡を用いて研究班員と細胞の分類を実施しながら学ぶことができます。今年度から症例標本を用いたグループディスカッションも実施します。初級コースでは血液塗抹標本を読み慣れてきた技師を対象として、血液塗抹標本を観察し、症例を考えていただきます。また、自分で観察した所見や推測した疾患を相手に伝える力を養うためのグループディスカッション形式の研修会も実施します。

症例標本を観察した所見を他施設の技師と共有することで、新たな気づきを得られる会です。皆様のご参加をお待ちしております。

注意事項：参加の可否については、1月5日頃までにメールにて参加費の支払い方法とともに連絡いたします。

※参加確定後のキャンセル、本人の都合による返金は認めません。

研究会

病理細胞検査研究班

専門教科：20点

日時：12月21日(土) 15:00~17:00

参加方法：日臨技 HP から事前登録

11月8日(金)~12月21日(土)

定員：100名

参加費用：なし

場所：日赤愛知医療センター名古屋第二病院

研修ホール(第3病棟1階)

テーマ：切り出しと特殊染色

講師：

1. 「当院の切り出し業務」 一宮市立市民病院 河上 晃一

2. 「マッソン・トリクローム染色」

JA 愛知厚生連 安城更生病院 高須 大輔

3. 「AiCCLS 推奨の特殊染色について」

小牧市民病院 岩田 晃裕

司会：稲沢市民病院 堀尾 健太

内容：日常業務で困ったことはありませんか？今回の研究会では、切り出しと特殊染色に関して、当研究班の班員の施設での方法の紹介や、愛知県臨床検査標準化協議会(AiCCLS)病理細胞検査部門が推奨する特殊染色法の紹介と解説をします。自施設の業務の参考にしていただくと幸いです。皆様のご参加をお待ちしております。

本研究会は事前参加登録なしでの当日参加も認めます

が、事前参加登録を推奨しております。

生殖医学検査研究班

専門教科：20点

日時：12月7日(土) 14:30~16:30

参加方法：日臨技 HP から事前登録

11月7日(木)~12月7日(土)

定員：30名

参加費用：なし

場所：日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 会議室1

テーマ：ホルモン検査について

講師：

①Q&A ~素朴な疑問にお答えします~

名古屋大学医学部附属病院 古澤 直美

②AMHについて

八千代病院 小椋 圭

③臨床データ紹介

藤田医科大学ばたね病院 伊藤 裕安

司会：小牧市民病院 藤田 京子

内容：①恒例となりました前回の講演会にて回収した質問に Q&A 方式で詳しくお答えさせていただく企画になっています。②③不妊治療においてホルモン検査は重要な検査です。基礎的な内容や臨床現場の話をお願いいただき、この機会に知識を深めていただければと思います。事前参加登録なしでの当日参加も認めますが、事前参加登録を推奨しております。定員に達した場合は事前参加登録者優先のため、参加をお断りする場合がありますのでご了承ください。

一般検査研究班より尿沈渣スライド貸出のお知らせ

一般検査を担当されている皆様、尿沈渣の教育や技師間の目合わせはどのように行っていますか？一般検査研究班ではご希望の施設に基礎講座で 使用した尿沈渣の基本成分(血球・上皮・円柱・結晶等)を網羅したスライド貸出事業を行っています。

施設で勉強のために使用したい！後進の指導に使いたい！など、施設での教育ツールとしてぜひご活用ください。

・貸出期間：最長1ヶ月

・スライド枚数：1セット50枚ほど

・費用：無料(破損や延滞は別に定めます)

※貸出については、一般検査研究班 HP の「班へのお問い合わせ」からお申し込みください。お申し込み後『尿沈渣スライド借用書』をお送りします。

第23回**愛知県医学検査学会 開催案内**

開催日時 令和7年6月29日(日) 9:15~17:00(受付開始 8:45)

会場 蒲郡市民会館

〒443-0035 蒲郡市栄町3番地 -30

担当 東三河地区

学 会 長：雪吹 克己(蒲郡市民病院)

副 学 会 長：手嶋 充善(豊橋市民病院)

実行委員長：渡邊 基裕(豊川市民病院)

事 務 局 長：近藤 泰佳(蒲郡市民病院)

学会テーマ 『WELL-BEING』~これからの臨床検査技師へ「継承と改革」~

学会内容 一般演題発表(口演)、シンポジウム、地区特別企画

共催セミナー(ランチョンセミナー)、ハンズオンセミナー、企業展示

参加費 3,000円 ※学生は無料(但し、受付時に学生証を提示)

参加資格 資格は問いません。他職種、賛助会員以外の方もご参加ください。

※今後の感染拡大状況に応じて、開催形式などの変更が生じる可能性もあります。

【一般演題募集要項】

申込方法：日臨技 HP 会員専用サイトを利用した演題・抄録の同時登録です。

日臨技 HP 会員専用サイトから会員番号、パスワードを入力しログインします。

日臨技会員メニュー「演題発表」内の「演題・抄録登録」から学会(第23回愛知県医学検査学会)を選択し、登録してください。

登録方法：愛臨技 HP「第23回愛知県医学検査学会」より詳細を確認の上、登録手続きを行ってください。

登録期間：令和6年12月9日(月)~令和7年2月14日(金)

※非会員の方は下記問合せ先までご連絡ください。

問合せ先：抄録担当 森下 拓磨(豊橋市民病院)
E-mail:aichikengakkai23@gmail.com